

第 1 2 章 公 害 の 苦 情 相 談

第 1 節 公害苦情相談の件数

1 公害苦情相談の件数

令和 4 年度の公害に関する苦情相談件数は105件で、前年度よりも18件減少しています（表12-1、図12-1）。

表12-1 年度別公害苦情相談の件数

年度	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	土壌汚染	地下水	その他	合計
25	14	34	74	14	50	0	1	8	195
26	11	30	89	7	27	0	0	8	172
27	7	42	86	11	41	0	3	3	193
28	14	42	81	15	61	0	0	6	219
29	10	20	66	10	42	0	1	7	156
30	8	24	54	8	39	0	1	7	141
元	10	12	47	6	31	0	0	5	111
2	9	25	65	13	45	0	0	5	162
3	2	18	58	10	32	0	0	3	123
4	13	11	44	7	28	0	0	2	105

※水質汚濁には油類、へい死魚等を、その他には地盤沈下を含む。

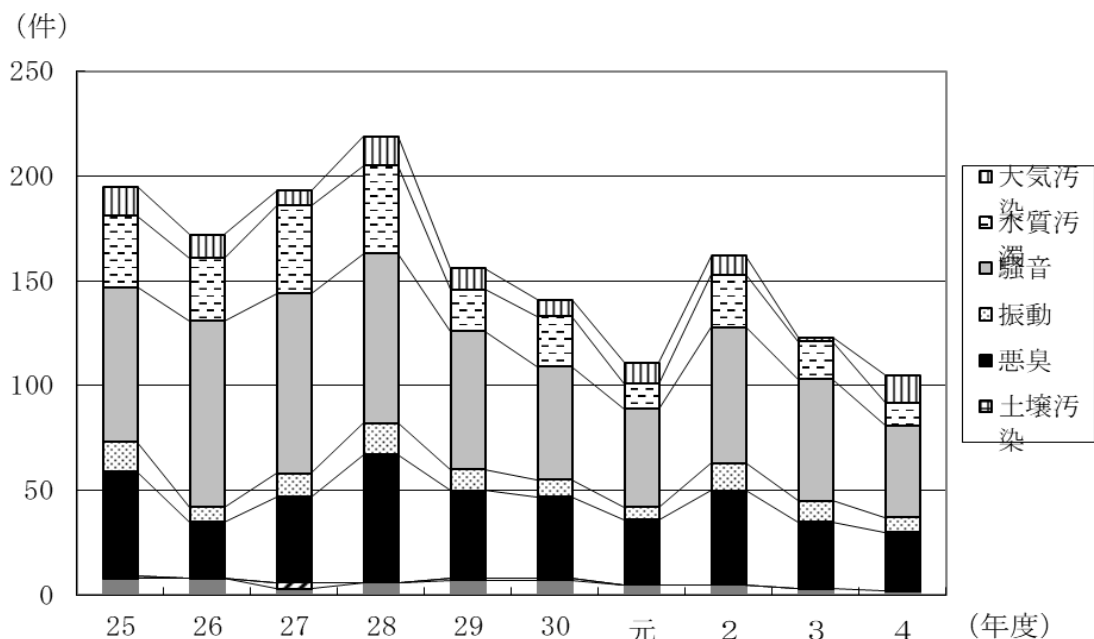


図12-1 年度別公害苦情相談件数の推移

2 種類別の苦情相談件数

苦情相談件数を種類別にみると、騒音の苦情相談が最も多く、以下、悪臭、水質汚濁の順となっています（図12-2）。

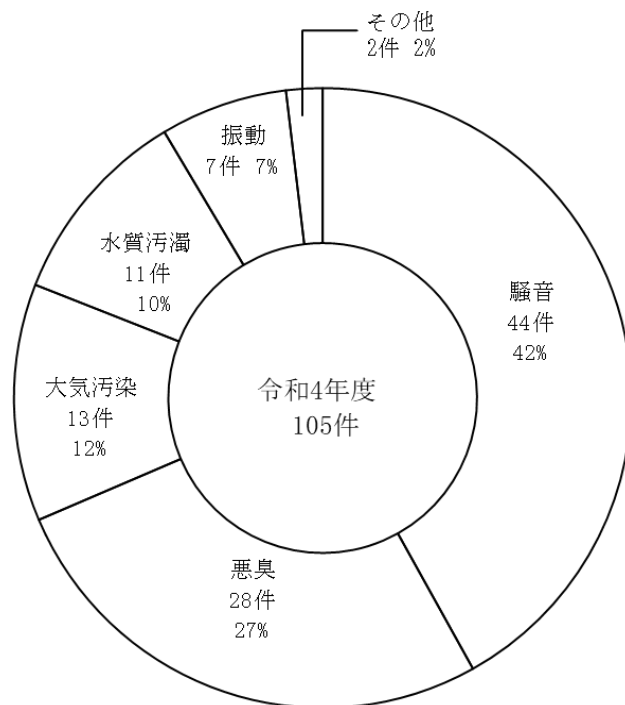


図12-2 種類別苦情相談件数

3 月別の苦情相談件数

苦情相談件数を月別にみると4月が最も多くなっています（図12-3）。

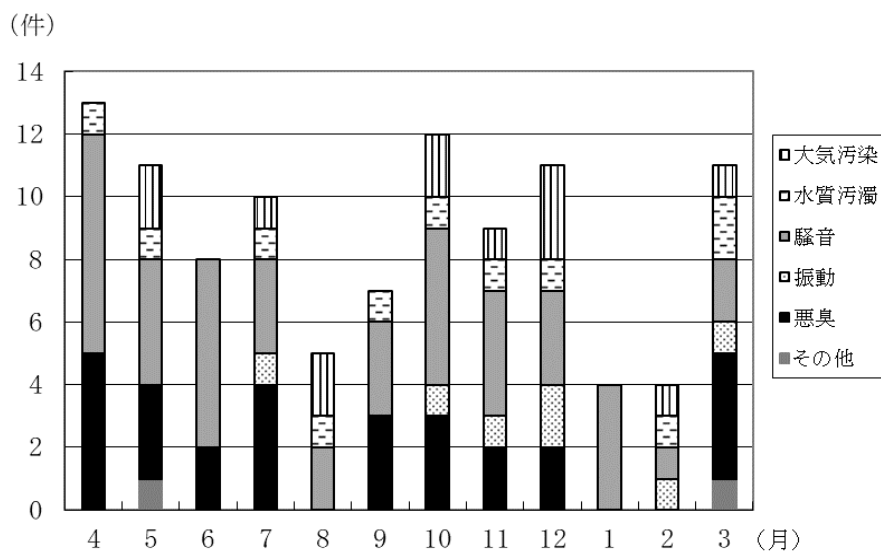


図12-3 月別の苦情相談件数

4 業種別の苦情相談件数

発生源者を業種別にみると、苦情相談件数が最も多かったのは総合工事業の26件で、次いで、製造事務所の19件となっています（不明を除く）（表12-2）。

表12-2 発生源の業種別の苦情相談件数

業種	大気	水質	騒音	振動	悪臭	地下水	その他	合計
耕種農業					1			1
畜産養蚕農業					1			1
農業サービス業								
林業								
漁業								
金属工業								
石炭原油鉱業								
非金属工業								
総合工事業	4		14	7			1	26
その他工事業	4	1	4		3			12
製 造 事 業 所	食料品製造業	1	1	2		10	1	15
	繊維工業							
	木材製造業			1				1
	パルプ製造業							
	出版関連産業							
	化学工業							
	石油製造業							
	プラスチック製造業							
	ゴム製造業							
	窯業等製造業		1	1				
鉄鋼非鉄金属					1			1
機械器具製造								
その他製造業								
(小計)	1	2	4		11		1	19
電気ガス等					1			1
水道業								
鉄道業								
旅客輸送業								
貨物輸送業								
航空運輸業								
その他運輸業			1					1
サ ー ビ ス 業	再生資源卸売							
	卸売・小売業	1		1				2
	飲食業			2		2		4
	飲食店のカラオケ							
	洗濯理容業等			1				1
	駐車業							
	生活関連サービス							
	旅館等							
	娯楽業							
	娯楽業のカラオケ			1				1
	ゴルフ場業等			1				1
	自動車整備業	1						1
	機械修理業							
	専門サービス業							
廃棄物処理業					1		1	
医療業等			1				1	
社会保険福祉			3				3	
教育等								
その他サービス業		1	1				2	
(小計)	2	1	11		3			17
公務				1				1
事務所								
道路								
空地								
公園								
神社寺院等								
その他	2		9		5			16
不明		7			3			10
合計	13	11	44	7	28	0	2	105

5 用途地域別の苦情相談件数

発生源を用途地域別にみると、苦情相談件数が最も多かったのは住居地域の31件で、次いで商業地域の18件となっています（表12-3）。

表12-3 用途地域別公害苦情相談件数

	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	その他	合計	比率%
住居区域	4	1	16	2	8		31	29.5
近隣商業		2	3		1		6	5.7
商業	3	1	7	4	2	1	18	17.1
準工業					3		3	2.9
工業		1					1	1.0
工業専用					3		3	2.9
調整区域	2	1	5	1	4	1	14	13.3
その他	2	3	2		2		9	8.6
特定できず	2	2	11		5		20	19.0
合計	13	11	44	7	28	2	105	100

6 被害の種類別の苦情相談件数

原因を被害の種類別にみると、苦情相談件数が最も多かったのは感覚・心理的の103件で、次いで財産の1件となっています（不明を除く）（表12-4）。

表12-4 被害の種類別公害苦情相談件数

	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	その他	合計	比率%
健康							0	0.0
財産				1			1	1.0
動物・植物							0	0.0
感覚・心理的	12	10	44	6	28	3	103	98.1
その他		1					1	1.0
合計	12	11	44	7	28	3	105	100

第2節 公害苦情相談の概況

1 大気汚染

件数は13件で前年度より11件増加しました（図12-4）。

種類としては粉じん12件、ボイラー1件となっています。

建設作業中の散水不足による粉じん被害が主な原因であり、施工業者への周知及び指導を行っています。

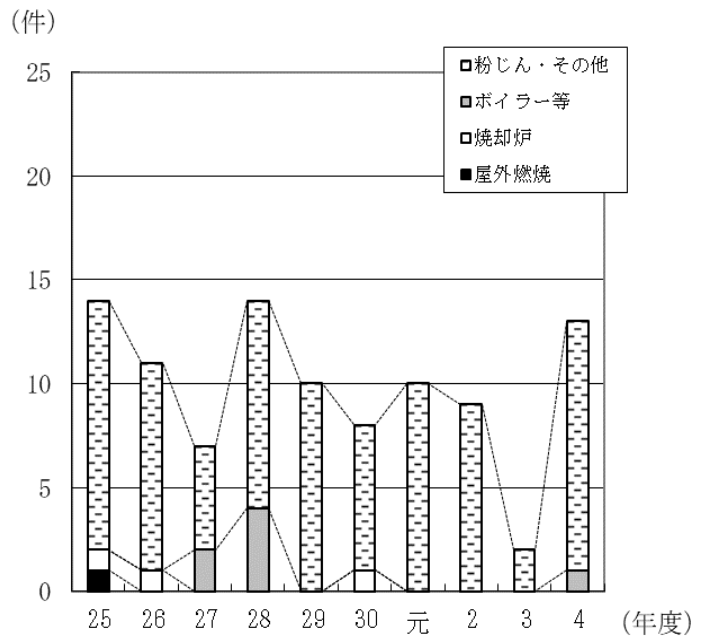


図12-4 大気汚染苦情相談内訳

2 水質汚濁

件数は11件で前年度より7件減少しました（図12-5）。

種類としては、汚水8件、油流出3件となっています。

河川汚濁事故対策としては、発生源に対する汚水処理の適正指導、汚濁物質の取扱い事業所に対する文書指導、広報紙による意識啓発等を行っています。

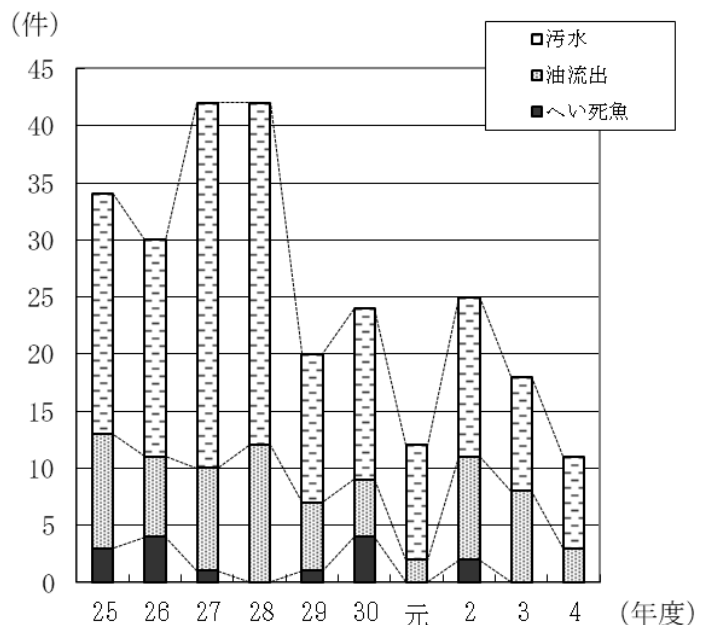


図12-5 水質汚濁苦情相談内訳

3 騒音

件数は44件で前年度より14件減少しました（図12-6）。

発生源としては、工場・事業場等19件、建設作業19件、営業騒音2件、その他自動車等4件となっています。

音は、人の身体や心理の状態、時間や周囲の状況によってうるさく感じる度合いが異なり、また、個人の感情面にも左右される要素があります。

また、公害の規定には当たりませんが、申立者と発生源が隣接し、当事者間で解決を図る必要がある場合においても市に相談するケースがあり、隣人同士のコミュニケーション不足による影響が懸念されます。

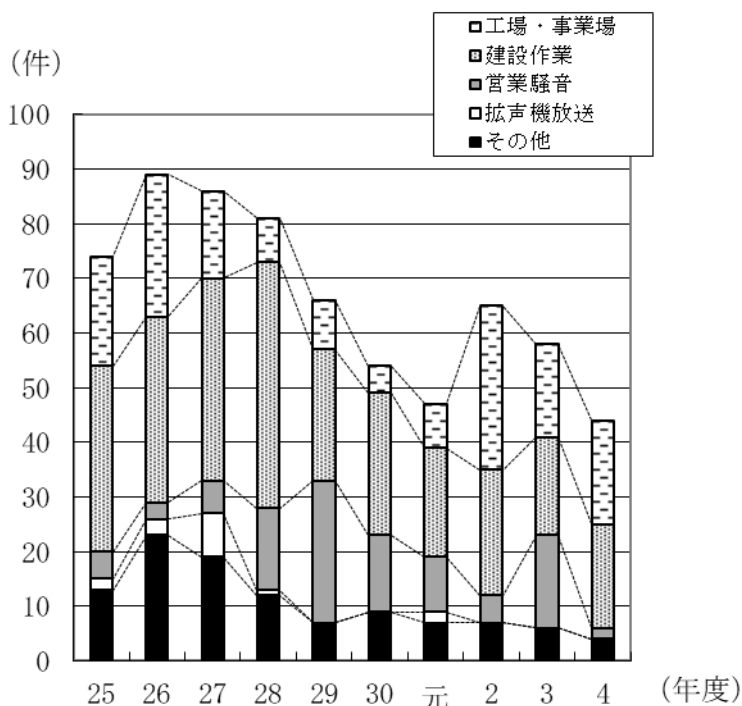


図12-6 騒音苦情相談内訳

4 振動

件数は7件で前年度より3件減少しました（図12-7）。

発生源としては建設作業7件となっています。

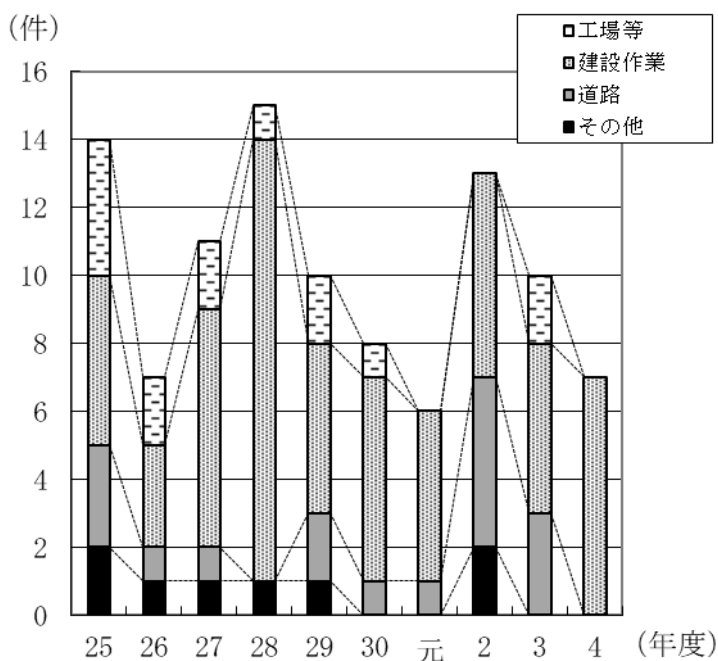


図12-7 振動苦情相談内訳

5 悪 臭

件数は28件で前年度より4件減少しました。主な発生源は、工場・事業場10件、その他や不明等10件などとなっています（図12-8）。

飲食店への悪臭の苦情相談が多くなっています。「3 騒音」と同様、公害の規定に当たらない当事者間のコミュニケーション不足による相談が増加しています。

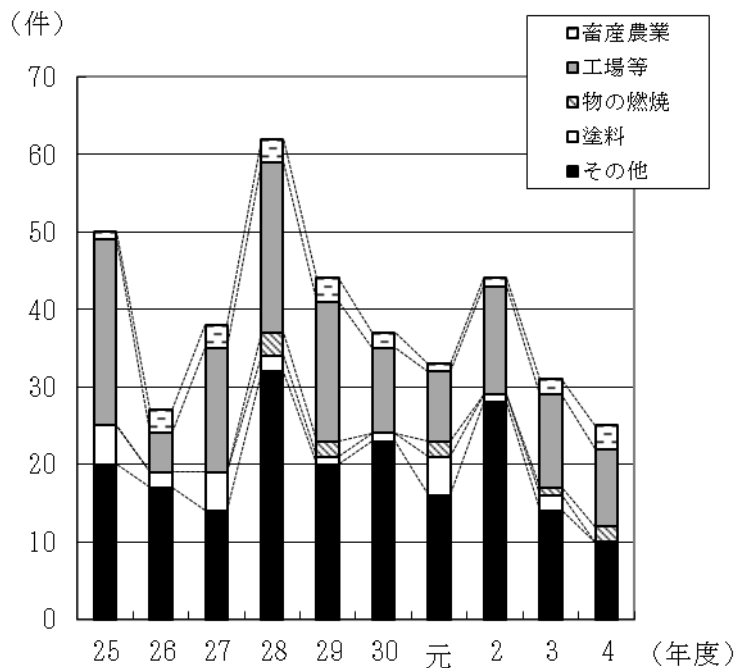


図12-8 悪臭苦情相談内訳

